

酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習受講報告

フィールド科学系部門生物生産技術班 川口 信治

● 目的

西条ステーションでは糞尿の浄化槽施設があり、職員が管理を行っているが、点検作業には常に酸欠・硫化水素危険作業主任者を必要とするため今回の講習を受講した。

● 期間・場所

期間：令和2年12月 1日～12月 3日

場所：広島県呉市中通1-1-2 ビューポートくれ

● 参加者：約46名（広島県内の酸素欠乏・硫化水素危険作業業務者）

● 講習内容

○学科講習 14時間30分

- ・酸素欠乏症等の病理と症状に関する知識
- ・酸素欠乏及び硫化水素の発生原因及び防止措置に関する知識
- ・保護具に関する知識
- ・災害事例
- ・関係法令

○実技講習 4時間

- ・測定器具の取り扱い方法
- ・救急蘇生の方法及びAEDの取り扱い方法

● 所感

西条ステーションでは酸素欠乏等の作業に該当する施設として、オガの格納庫、ポンプ小屋、糞尿の浄化槽等があるがオガの格納庫はコンスタントに日々消費されておりカビ等の発生も今まで目にする事もなくの点検及び清掃業務を行っている。ポンプ小屋も密閉される建屋ではあるが池からは距離があり内部に腐敗するようなものもなく長時間ドアを締め切り一人で作業に当たるようなことを除けば酸欠になることもないと思われる。浄化槽内部に入った作業や点検は行っていないため、開口部のマンホールから内部を覗き込み、点検を行う場合を除いて、危険は少ないと講習を受ける前は感じていたが講習を受け、酸素欠乏等の被災事故は致死率が非常に高く、被災した直後に意識を失う場合も有り、助けを呼ぶ事も出来ない可能性が高い事や西条ステーションの業務ではマンホールを開口した直後から危険が有る事が分かった。そのためマンホールを開口する業務を行う場合は1名を監

視人として2名以上で作業を行う必要が有ると強く感じた。

今後も故障や事故が発生しないとは言い切れない。今後は酸素欠乏等の事故やその他の事故でも今回の講習を活かし対処して行きたい。